

# 千葉県白井市と災害時医療救護協定を締結

本会は地域に貢献する公益事業の一環として、県内各市と災害時医療救護協定を締結し、毎年締結各市の防災訓練に医療救護で協力しているところです。令和2年度は成田市・富里市と締結し本年1月には県内14市目として、白井市と締結しました。今後さらに四街道市・佐倉市および千葉市とも協定締結へ交渉を進めていきます。



以下令和3年1月26日付の千葉日報新聞の記事より

## 柔道整復師が災害時支援へ白井市と協定

白井市は、災害の発生で医療救護活動を行う際、地域の柔道整復師から支援協力を受ける協定を、千葉県柔道整復師会（高橋政夫会長）と結んだ。

骨折や脱臼、打撲などのけが人が出た場合の処置を、市が設置する医療救護班の医師らと連携して担ってもらう。同会と同様の協定を結ぶのは県内14市目。市役所の締結式で笠井喜久雄市長は、台風・豪雨や大地震に対しては「行政だけでなく、協力を得ながら迅速な対応が必要で、協定の意義は大きい」と説明。高橋会長は「住民が安心できるように行政と連携して尽力したい」と強調した。

同会は県内11支部に会員が計約550人。災害時には、白井市内で開業している柔道整復師や近隣からの応援派遣で迅速に対応する。市は実費を支給する。同会は災害を想定した出動訓練を重ねており、10年前の東日本大震災では福島県内に会員を応援派遣した。

（千葉県広報員 渡辺勇）

